

令和5年度 授業改善推進プラン 第2学年

小平市立小平第三小学校

各教科及び 道徳	学力調査等の結果分析 児童の学習状況	指導上の課題	改善の計画	プランの評価方法
国語	• 単元ごとに、めあてを意識して学習を進めている。 • 意見交換や話し合いに積極的に取り組む児童が多い。 • 自分の考えや感想を書くことに慣れ、たくさん書けるようになってきている。	• 漢字、かたかなや、句読点の使い方など、基本的な知識の習得に個人差が見られる。 • 話すこと・聞くことの経験がまだ少ない。	• モジュールや家庭学習等でタブレットドリルを活用し、漢字の練習に繰り返し取り組めるようにする。 • 人前で話す経験や、音読を聞かせる機会を意識的に設ける。また、聞き手として、質問したり、感想を伝えたりすることを習慣づけるよう指導する。	• 基礎的な知識の習得、定着についてワークテストで80%以上取れているかで評価する。 • 話し手としての態度や発表内容、聞き手としての発言等から、話す・聞く力について評価する。 • CRTテストの変容で評価する。
算数	• 文章題の読解に課題がある。文章に沿った式や答えの書き方が苦手な児童がいる。 • 時計の学習に課題がある。時刻や時間を求める問題や短針の読み取りに間違いが多い。 • 前学年のベーシックドリル診断テストでは、くり上がりやくり下がりのある計算の数の構成は概ね理解できていた。	• 文章をきちんと読まずに、問題を解いてしまう児童が多い。単位の書き忘れも目立つ。 • 時計の学習は習得状況がはっきり2極化している。	• 文章題の中からキーワードを見つける指導を行い、具体物や半具体物、デジタル教材を効果的に用いて、問題場面を視覚的に捉えやすくする。 • 朝のモジュール学習や宿題で学習者用端末を活用し、何度も繰り返し取り組む。	• ワークテストで80%以上とれているかで評価する。 • 東京ベーシックドリルの診断テストで80%以上取れているかで評価する。
生活	• 観察カードを書くことで、気づいたことや考えたことを絵や文で表現する力が伸びた。 • 野菜を選んで育てることで、他の野菜と比較して観察する視点をもつことができた。	• 自分で観察したことや調べたことで感じたことや気づいたことを発表する機会が少なかった。	• 学習支援ソフトを活用する。自分で観察したことや調べたことで感じたことや気づいたことを発表する機会を設定する。	• 活動の振り返りをその都度、行うことで、自分の成長をみつめることができたかで評価する。 • 活動した内容をまとめ、発表することができたかどうかで評価する。
音楽	• 曲に合わせて身体表現をしながら、音楽の楽しさを感じている。 • 鍵盤ハーモニカの運指などの基本の練習をしている。	• 鍵盤ハーモニカを演奏するための基礎的な技術に個人差がある。	• 曲に合わせて身体表現をしながら、リズム打ちする楽しさを身に付けさせる。身体表現をしながら曲を聴く楽しさを身に付けさせる。 • 鍵盤ハーモニカの練習時間に個別の指導なども取り入れ、基礎的な演奏技術を身に付けさせる。	• 曲に合わせて身体表現をしながら、リズム打ちすることができたかどうかで評価する。 • 鍵盤ハーモニカの基本的な奏法や練習の様子で評価する。

図画工作	- 課題に楽しんで取り組み、自分らしさを表現している。 - クレパス、絵の具、ステープラーなどの道具の使い方について理解することができる。	鑑賞を通した他者理解が十分にできていなかった。	- 造形遊び・作品製作と鑑賞をセットにした学習の流れをつくる。 - 作品を作った後に必ず鑑賞を行い、よいところを伝え合うことで、自己理解・他者理解を深める。 - 画一的なテーマ題材ではなく、描くものを自分で決めることのできる題材を設定する。	鑑賞時のワークシートの記述や発言で評価する。
体育	- いろいろな動きを取り入れ、基本的な運動能力が身に付いている。 - ICT 機器を使い、動きの映像などを記録し、後で振り返る学習をしている。	- 体力や動きの巧みさに個人差がある。 - 自分の工夫したことを周りに伝える活動が十分にできていなかった。 - 学習カードを使用し、思考や判断を見取り、振り返りに生かしている。	- どの授業でも運動の時間や回数を多くするように心がけ、運動量の確保につなげる。 - 走る運動や跳ぶ運動を授業でたくさん取り入れ、体力の向上を図る。 - 運動遊びで自分の工夫したことを周りに伝えられるように、振り返りを行う。 - 体づくりの運動遊びをはじめ、様々な動きを取り入れ、総合的な体力の向上につなげる。	- 授業での課題に意欲的に、粘り強く取り組む様子で評価する。 - 振り返りの時間等の発言で評価する。 - ICT や録画して映像をもとにして動きや技能の評価をする。 - 学習カードの記述によって評価する。
道徳	- ワークシートに、自分のことについて書く活動を積み重ねている。 - 友達の発言を聞いて、いろいろな考えや価値観に触れている。	自分のこととして捉えきれていない児童がいる。	- 児童にとって振り返りやすい内容・発問となるよう工夫する。 - 内容に応じてデジタル写真、映像の活用や思考ツールを活用して意見を視覚化する。 - 道徳ノートに書く活動を継続し、自分のことを振り返る経験を積み重ねていく。	ワークシートへの記述の変容等で評価する。